

その時 I

馬にあてる御者の鞭がゆるみはじめて  
馬蹄の音も少なくなった  
僕たちは村に入った  
すがれたやうな薔薇が  
垣に一つ二つ白い花を咲かせ  
英国の田舎のやうに綺麗であつた  
とある家の前で下り立つと  
秋の日は僕のまぶたにそそいだ  
お前の髪の毛をそよ風がなぶつた  
では さやうなら  
》かはいさうに お前は  
僕にすてられ  
その上 いつなほるかわからない病気  
熱っぽかつたお前のからだのやうにだるさうに  
それでもほがらかなお前のやうにやさしく  
遠くで小さな薔薇はゆれてみた  
お手紙をちやうだいね  
うん  
僕だけふたたび馬車に乗つた  
僕がさんざんもてあそんだ田舎娘  
さやうなら さやうなら  
お前は英国の田舎娘のやうに綺麗であつた